2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月11日

上場会社名　　日産車体株式会社　　上場取引所　東
コード番号　　7222　　ＵＲＬ　https://www.nissan-shatai.co.jp
代表者　　（役職名）取締役社長　　（氏名）冨山　隆
問合せ先責任者　（役職名）法務・広報部部長　　（氏名）齊藤　義雄　　ＴＥＬ　0463-21-8001

半期報告書提出予定日　　2026年11月13日　　配当支払開始予定日　2026年12月１日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	230,572	23.8	13,919	150.8	14,390	138.8	10,086	171.6
2026年３月期中間期	186,188	26.8	5,550	－	6,025	－	3,713	－

（注）包括利益　2027年３月期中間期　9,651百万円（184.7%）　2026年３月期中間期　3,389百万円（－%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	74.47	－
2026年３月期中間期	27.41	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年３月期中間期	300,359	192,253	64.0	1,419.34
2026年３月期	277,139	183,821	66.3	1,357.09

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　192,253百万円　2026年３月期　183,821百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	－	6.50	－	9.00	15.50
2027年３月期	－	7.75			
2027年３月期（予想）			－	－	－

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	448,000	10.9	21,000	48.3	21,500	42.6	14,000	103.1	103.36

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更：無

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無
②　①以外の会計方針の変更　：無
③　会計上の見積りの変更　：無
④　修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	135,452,804株	2026年３月期	135,452,804株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	223株	2026年３月期	126株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	135,452,649株	2026年３月期中間期	135,452,698株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、第２四半期（中間期）決算短信（添付資料）２ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 2
（３）当中間期のキャッシュ・フローの概況 …… 2
（４）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 2
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 3
（１）中間連結貸借対照表 …… 3
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 4
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 6
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 7
（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記） …… 7
（セグメント情報等の注記） …… 7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
３．その他 …… 8
連結製品別売上高 …… 8

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における我が国経済は、雇用情勢や所得環境の改善から個人消費が持ち直し傾向にあり、景気は緩やかに回復しました。当社グループを取り巻く環境は、主に中東情勢不安を始めとする国際的な地政学リスク及び熊本地震等の自然災害の影響に注視が必要な状況が続きました。

このような環境において、当社が日産自動車株式会社から受注しております自動車の売上台数は、主に今年４月に生産を開始した「新型エルグランド」の増加等により、前年同期と比べ9.2%増加の80,101台となりました。売上高は、台数増加や車種構成の影響等により、23.8%増加の2,305億円となりました。損益面では、営業利益は台数増加や車種構成の影響に加え、原価低減活動による生産コストの削減等により150.8%増加の139億円、経常利益は138.8%増加の143億円、親会社株主に帰属する中間純利益は171.6%増加の100億円となりました。

（２）当中間期の財政状態の概況

（資産）

流動資産は、前連結会計年度末と比べ12億円増加の1,792億円となりました。これは主に、受取手形、売掛金及び契約資産の増加56億円、原材料及び貯蔵品の増加11億円、現金及び預金の減少30億円、預け金の減少27億円によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末と比べ219億円増加の1,210億円となりました。これは主に、工具、器具及び備品の増加275億円によるものであり、その主な内容は「新型エルグランド」生産に対応するためのものです。

この結果、資産合計は前連結会計年度末と比べ232億円増加の3,003億円となりました。

（負債）

流動負債は、前連結会計年度末と比べ99億円増加の974億円となりました。これは主に、その他流動負債のうちリース債務の増加97億円、固定負債から流動負債への振替等に伴う事業構造改革引当金の増加16億円によるものです。

固定負債は、前連結会計年度末と比べ48億円増加の106億円となりました。これは主に、その他固定負債のうちリース債務の増加69億円、流動負債への振替に伴う事業構造改革引当金の減少21億円によるものです。

この結果、負債合計は前連結会計年度末と比べ147億円増加の1,081億円となりました。

（純資産）

純資産合計は、前連結会計年度末と比べ84億円増加の1,922億円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する中間純利益の計上による利益剰余金の増加100億円、剰余金の配当による利益剰余金の減少12億円によるものです。

（３）当中間期のキャッシュ・フローの概況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は812億円となり、前連結会計年度末に比べ57億円減少いたしました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、97億円（前中間連結会計期間に得られた資金は83億円）となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益147億円、減価償却費70億円、売上債権及び契約資産の増加による減少56億円、法人税等の支払額45億円によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、33億円（前中間連結会計期間に使用した資金は58億円）となりました。これは主に、固定資産の取得による支出33億円によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、121億円（前中間連結会計期間に使用した資金は89億円）となりました。これは、リース債務の返済による支出109億円、配当金の支払額12億円によるものです。

（４）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2026年５月13日公表の業績予想を変更しておりません。

なお、今後の動向により業績に影響を及ぼす場合には、開示基準に従って速やかに開示いたします。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	74,708	71,689
受取手形、売掛金及び契約資産	83,677	89,315
仕掛品	888	942
原材料及び貯蔵品	5,050	6,176
預け金	12,288	9,547
その他	1,385	1,619
流動資産合計	178,000	179,290
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	11,921	11,635
機械装置及び運搬具（純額）	15,626	19,935
工具、器具及び備品（純額）	32,843	60,370
土地	14,126	14,126
建設仮勘定	11,437	1,415
有形固定資産合計	85,954	107,483
無形固定資産	1,639	1,563
投資その他の資産		
投資有価証券	324	324
退職給付に係る資産	9,373	9,520
繰延税金資産	1,564	1,902
その他	283	274
投資その他の資産合計	11,545	12,021
固定資産合計	99,139	121,068
資産合計	277,139	300,359
負債の部		
流動負債		
買掛金	48,333	52,008
未払法人税等	4,832	5,081
製品保証引当金	172	237
事業構造改革引当金	－	1,630
その他	34,102	38,459
流動負債合計	87,440	97,417
固定負債		
製品保証引当金	401	444
事業構造改革引当金	2,129	－
退職給付に係る負債	1,231	1,228
その他	2,115	9,016
固定負債合計	5,877	10,689
負債合計	93,318	108,106
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,904	7,904
資本剰余金	8,317	8,317
利益剰余金	158,254	167,122
自己株式	△0	△0
株主資本合計	174,477	183,344
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	9,343	8,908
その他の包括利益累計額合計	9,343	8,908
純資産合計	183,821	192,253
負債純資産合計	277,139	300,359

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	186,188	230,572
売上原価	177,128	212,852
売上総利益	9,059	17,719
販売費及び一般管理費	3,509	3,800
営業利益	5,550	13,919
営業外収益		
受取利息	189	280
固定資産賃貸料	169	168
スクラップ売却益	168	58
その他	28	19
営業外収益合計	555	526
営業外費用		
支払利息	23	16
固定資産賃貸費用	14	17
減価償却費	34	11
その他	8	10
営業外費用合計	81	55
経常利益	6,025	14,390
特別利益		
固定資産売却益	0	1
事業構造改革引当金戻入額	－	460
特別利益合計	0	461
特別損失		
固定資産除却損	451	82
減損損失	183	－
その他	0	－
特別損失合計	635	82
税金等調整前中間純利益	5,390	14,768
法人税等	1,677	4,682
中間純利益	3,713	10,086
親会社株主に帰属する中間純利益	3,713	10,086

（中間連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間純利益	3,713	10,086
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	△323	△435
その他の包括利益合計	△323	△435
中間包括利益	3,389	9,651
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	3,389	9,651

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	5,390	14,768
減価償却費	5,429	7,001
減損損失	183	－
退職給付に係る負債及び資産の増減額	△0	△149
事業構造改革引当金の増減額（△は減少）	－	△498
受取利息及び受取配当金	△191	△283
支払利息	23	16
固定資産売却損益（△は益）	0	△1
固定資産除却損	451	82
売上債権及び契約資産の増減額（△は増加）	685	△5,637
棚卸資産の増減額（△は増加）	△1,003	△1,179
仕入債務の増減額（△は減少）	△2,435	3,278
その他	109	△3,324
小計	8,642	14,072
利息及び配当金の受取額	188	287
利息の支払額	△23	△16
補償金の受取額	－	16
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△426	△4,592
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,380	9,767
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△5,779	△3,321
固定資産の売却による収入	1	22
貸付金の回収による収入	0	－
有形固定資産の除却による支出	△63	△44
その他	2	8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,839	△3,335
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△880	△1,219
自己株式の取得による支出	－	△0
リース債務の返済による支出	△8,080	△10,973
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,960	△12,193
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△6,418	△5,761
現金及び現金同等物の期首残高	93,056	86,997
現金及び現金同等物の中間期末残高	86,638	81,236

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）

税金費用の計算

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、見積実効税率を使用できない場合には、法定実効税率を使用しております。

（セグメント情報等の注記）

Ⅰ　前中間連結会計期間（自　2025年４月１日　至　2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				合計	調整額（注）１	中間連結損益計算書計上額（注）２
	自動車関連	設備メンテナンス	情報処理	人材派遣			
売上高							
外部顧客への売上高	183,262	303	1,532	1,090	186,188	－	186,188
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	621	443	1,750	2,815	△2,815	－
計	183,262	924	1,975	2,840	189,003	△2,815	186,188
セグメント利益又は損失（△）	5,380	△42	91	100	5,529	21	5,550

（注）１．セグメント利益又は損失の調整額21百万円は、セグメント間の内部売上高2,815百万円及び内部営業費用2,836百万円の消去であります。

２．セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「自動車関連」セグメントにおいて、当社湘南工場で生産している「NV200バネット」が2026年度末をもって終了することに伴い、当社及び連結子会社の当該生産設備を対象として減損損失を計上いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当中間連結会計期間において183百万円であります。

Ⅱ　当中間連結会計期間（自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				合計	調整額（注）１	中間連結損益計算書計上額（注）２
	自動車関連	設備メンテナンス	情報処理	人材派遣			
売上高							
外部顧客への売上高	227,739	177	1,642	1,013	230,572	－	230,572
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	270	438	1,717	2,426	△2,426	－
計	227,739	448	2,081	2,730	232,999	△2,426	230,572
セグメント利益又は損失（△）	13,763	△102	166	51	13,879	39	13,919

（注）１．セグメント利益又は損失の調整額39百万円は、セグメント間の内部売上高2,426百万円及び内部営業費用2,465百万円の消去であります。

２．セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）
該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）
該当事項はありません。

３．その他

連結製品別売上高

区分	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）		当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）		増減	
	台数	金額	台数	金額	台数	金額
	台	百万円	台	百万円	台	百万円
乗用車	44,619	134,495	54,331	180,766	9,712	46,270
商用車	23,355	32,609	20,311	30,716	△3,044	△1,892
小型バス	5,371	9,316	5,459	9,775	88	459
部品売上・その他	－	9,766	－	9,313	－	△452
合計	73,345	186,188	80,101	230,572	6,756	44,384

2027年3月期 第2四半期（中間期）決算 参考資料

2026年11月11日
日産車体株式会社

連結

（単位：億円）

	当中間期実績（累計） 2027年3月期		前中間期実績（累計） 2026年3月期		前年度実績 2026年3月期	
売　上　高	2,305.7	(23.8%)	1,861.8	(26.8%)	4,038.0	(15.2%)
営 業 利 益	139.1	(150.8%)	55.5	(－)	141.6	(175.1%)
経 常 利 益	143.9	(138.8%)	60.2	(－)	150.8	(157.9%)
親会社株主に帰属する当期純利益	100.8	(171.6%)	37.1	(－)	68.9	(127.3%)
増減要因 (営業利益)	(変動要因) 台数･構成差 合理化ほか 計	億円 34 49 83				
配当金（円／株）	中間 7.75円		中間 6.5円		中間 6.5円／年間 15.5円	
設備投資	285		57		132	
減価償却費	70		54		109	
ネットキャッシュ	812		866		869	
売上台数	千台		千台		千台	
乗用車	54	(21.8%)	45	(37.0%)	94	(18.7%)
商用車	20	(▲13.0%)	23	(▲0.7%)	48	(▲12.0%)
小型ﾊﾞｽ	5	(1.6%)	5	(▲28.1%)	11	(▲0.9%)
計	80	(9.2%)	73	(15.4%)	153	(5.6%)

＊(　)内は対前年同期増減率